

平和構築と紛争予防月間に寄せて

2025-26年度
国際ロータリー第2660地区 ガバナー
吉川 健之 (大阪北RC)

平和構築と紛争予防月間を迎えました。ロータリーは、多様な国籍・宗教・文化をもつ人びとが「よりよい未来」という共通の信念で結びつく場であり、その結びつきが持続的な平和の土台になる——国際ロータリーはそう強調しています。私たちの奉仕は、まさに平和を可能にする環境づくりそのものです。

私は、大阪北ロータリークラブが支援してきた「タンザニア甲子園」が、平和構築の一助になると信じています。年に一度、全国から球児がダルエスサラームに集い、競い合い、学び合い、互いを知る。そこで育まれる友情と尊重は、地域の違いを越える力になります。タンザニアでは、中学・高校の6年間、地域を離れて寄宿生活を送り、他地域の子どもたちと学ぶ仕組みがあるといわれます。若い時期から交流と学びを重ねることが、部族間の緊張を抑え、共通の土台を形づくる——私はその発想に、スポーツの持つ平和の力を重ね合わせています。

もっとも、紛争や戦争の原因は多様であり、現代社会において平和維持は簡単ではありません。報道では、タンザニアで大統領選をめぐる抗議活動の後、少なくとも240人が反逆罪で起訴されたと伝えられています。社会が揺れるとき、分断は一気に深まります。だからこそ、平時から人と人との信頼を耕し、対話の回路を保ち続けることが重要です。相手を知り、違いを認め、同じ場で汗を流す経験は、将来の対立を未然に防ぐ「紛争予防」の営みでもあります。平和は遠い国の出来事ではなく、家庭・職場・地域の関係性の中にもあります。互いを尊重し、誠実に向き合う姿勢こそが、最も身近で確かな平和活動だと改めて感じます。

世界のロータリアン、ロータリーファミリーは、平和を願い、地域の現場でそれぞれの方法で行動を続けています。その一つひとつは小さく見えても、確実に希望をつなぎます。本月信が、各クラブの皆さまが日々の奉仕を「平和構築」という視点で見つめ直し、新たな交流と協働へ踏み出す契機となれば幸いです。

私たち一人ひとりの行動が、地域と世界に静かな平和の連鎖を生み出します。

(2025-26年度 RI2660地区 ガバナー月信2月号 より)

OSAKA-TEMMABASHI ROTARY Club Weekly Bulletin

Rotary Club of Osaka-Temmabashi



第2660地区 大阪天満橋ロータリークラブ 創立 昭和42年(1967)11月4日

事務局 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目3番1-1100号 大阪駅前第1ビル11階

例会 毎週木曜日 12時30分 ヒルトン大阪

会長 中島 清治 幹事 坂口 雅俊 リング・プログラム・広報委員長 西浦 司

事務局電話 (06) 6344-0120 FAX (06) 6344-0126 ホテル電話 (06) 6347-7111

E-mail: temma-rc@temmabashi-rc.com http://temmabashi-rc.com

2025-2026年度RI会長メッセージ

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

FEBRUARY 12 2026 NO. 2742

平和構築と紛争予防月間

☆☆ 今日のプログラム ☆☆

- 1) 例会 (2742回)
- 2) ソング 我等の生業
- 3) 卓話 「大阪市消防局の概要について」
大阪市北消防署
署長 大塚 通寛様
職業奉仕委員会

次週(2月19日)のお知らせ

- 1) 例会 (2743回)
- 2) ソング ロータリー讃歌
- 3) 卓話 「白洲夫妻にみる知恵というもの」
小寺 寿矢会員
- 4) 第3回被選理事会

☆☆ 2月度の在籍表彰 ☆☆

30ヵ年 山本 喬一

(以上敬称略)

** 先週の例会報告 **

☆☆ 会長報告 ☆☆

本日は、2660地区、国際・社会奉仕委員会委員長の桑城様、そして委員の木山様にお越しいただきました。当クラブの例会を楽しんでいただければと思います。後ほど卓話もお願いしております。何卒宜しくお願い致します。

本日、冒頭黙とうに御協力いただきましたが、坂本一民先輩が昨年11月3日にお亡くなりになりました。坂本先輩は、1977年入会、在籍48年であられ、ガバナー補佐代理もお務めいただくなど、当クラブにとって無くてはならない方でありました。本当に残念でなりません。いつも、例会の折には挨拶をいただき、最初に会長を務めさせていただいた時も、ガバナー補佐を務めた時も、「頑張ってるな、頑張ってるな。」とお声を掛けていただきましたことを思い出します。改めて、坂本先輩のご冥福をお祈り申し上げます。

本日は、平和構築と紛争予防月間ということで、地区の国際・社会奉仕委員会委員長の桑城様に卓話をお願いしています。興味深いお話しが聞けるものと楽しみにしています。

本日も、何卒よろしく願い申し上げます。

☆☆ 幹事報告 ☆☆

- ①2月のロータリーレートは1ドル=154円になりました。(1月1ドル=156円)
- ②「ロータリーの友」2月号をお配りしております。
- ③(公益財団法人)ロータリー日本財団より、令和7年7月1日から12月末までの個人寄付につきまして、確定申告で税務署にご提出いただく確定申告用寄付金領収証(裏面に税額控除の証明書が印刷されております)が届きました。「寄付者の皆様へ」と併せて会員ポストにお配りしておりますのでご確認ください。なお、「寄附者の皆様へ」をご一読いただきお手続きをお願いいたします。
- ④(公益財団法人)ロータリー米山記念奨学会より、昨年1年間(2025年1月~12月)の特別寄付金ならびに普通寄付金につきまして、確定申告で税務署にご提出いただく書類が届きました。寄付金領収証(税額控除に係る証明書の写し付)・リーフレットと併せて会員ポストにお配りしておりますのでご確認ください。「確定申告用領収証送付の件」をご一読いただきお手続きをお願いいたします。
- ⑤「2025-26年度 春のRYLAセミナー」のご案内を本日お配りしております。
- ⑥「2026-27年度版 ロータリー手帳」申し込みのご案内をお配りしています。手帳についての詳細は掲示板をご覧ください。

☆☆ 出 席 報 告 ☆☆（ ）内は会員総数を基準とした値					
国内ビジター	0名	会員総数	38名	2月5日の出席率	75.76%
国内ゲスト	2名	会員出席	25名(33名)	4週間前（1月15日）の	
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	15名	マークアップを含む出席率	75.00%
外国ゲスト	0名	会員欠席	8名	マークアップ実施会員	2名（欠席者10名）

- ⑦No1・3・5・6テーブル情報集会の出欠のご返事を事務局までお願いいたします。
- ⑧「2025-26年度下半期会費のお願い」をさせて頂いております。お振り込み宜しくお願いたします。

☆☆ にこにこ箱 ☆☆ 敬称を略す

坂本一民先輩のご冥福をお祈り申し上げます

中島 清治

坂本先輩の御冥福をお祈り致します 在本 茂

坂本先輩 親子2代にわたりお世話になりました

小寺 寿矢

坂本会員の御冥福をお祈りし 寺杣 晃一

坂本先輩の御冥福を悼み 郡 悦清

坂本会員の御冥福をお祈り致します 中村 健輔

2660地区国際・社会奉仕委員会 桑城委員長 木

山委員 本日よりしくお願い申し上げます

中島 清治

地区国際・社会奉仕委員会 委員長桑城伸語様

委員木山博之様、本日は有難う御座居ます

高橋 俊起

78歳の誕生日 自祝 郡 悦清

誕生日 自祝 高橋 俊起

在籍表彰 自祝 荒木 幾夫

誕生日 自祝 望田 謙三

令和8年2月5日 合計金 58,000円

累計金 1,086,100円

☆☆ 先週（2月5日）の卓話 ☆☆

平和構築と紛争予防月間記念卓話

「平和構築と紛争予防」

地区国際・社会奉仕委員会

委員長 桑城 伸語 様

委 員 木山 博之 様

国際奉仕委員会

本日は「平和構築と紛争予防」をテーマについてお話しします。

一般に「平和」というと、戦争がない状態を思い浮かべがちですが、ロータリーが考える平和はそれだけではありません。貧困、差別、人権侵害、抑圧といった構造的な暴力が存在しない状態、すなわち誰もが自分らしく安心して生きられる社会を「積極的平和」と捉えています。これは、ノルウェーの平和学者ヨハン・ガルトゥング博士の理論や、経済平和研究所の研究にも基づく考え方です。

ロータリーの平和活動は、国家間の政治や外交を論じるものではありません。反戦運動団体でもなく、戦争の是非を主張する立場でもありません。あくまで、人と人、地域社会のレベルで、平和が損なわれる原因に向き合い、その根本的な状況や社会構造を改善することを目的としています。

紛争の背景には、貧困や失業、教育不足、水や医療へのアクセス不足、母子の健康問題、環境悪化など、複合的な要因があります。これらは一見、紛争と直接関係がないように見えても、社会不安や不満の蓄積を通じて、将来的な対立や暴力につながります。ロータリーの七つの重点分野は、まさにこれらの背景要因に対応するものであり、平和構築と紛争予防は、他の六分野すべてと深く結びついています。

グローバル補助金を活用した平和構築事業の例として、コロンビアで実施された「Peace Facilitator Classrooms」や、ナイジェリアでの「Positive Peace Ambassadors」育成事業があります。これらはいずれも、紛争地に直接介入するのではなく、学校や地域社会において平和意識を育み、対話と協調を促す取り組みです。ロータリーは、紛争そのものに介入する組織ではなく、紛争を生みにくい社会の土台づくりを支援しています。

また、ロータリーの大きな特徴として、グローバル奨学生や平和フェローシップがあります。第2660地区からも、多くの奨学生・フェローが世界に羽ばたき、国際機関や各国政府、現地コミュニティの現場で活躍しています。彼ら一人ひとりの専門性と経験が、長期的に世界の平和を支える力となっています。

紛争地域への支援には常に難しさが伴います。人道的に何もしないことはできませんが、支援の内容や方法によっては、特定の立場を支持していると受け取られるリスクもあります。ロータリーは、法令や国際規範を遵守し、中立性を保ちながら、人道的観点に基づく支援を行うことを重視しています。

地区やクラブで行う地域社会への奉仕は、一見すると身近で小さな活動に見えるかもしれませんが、しかし、地域で人を育て、社会の基盤を強くすることは、世界の平和構築と紛争予防に確実につながっています。第2660地区から世界へ——私たち一人ひとりの行動が、恒久的平和への大きな一歩となることを、改めて共有したいと思います。

故 坂本一民会員を偲んで



坂本会員がお亡くなりになった事に、心よりお悔やみを申し上げます。

“しゃきっとしなはれ”これは私がクラブ会長になったとき最初に坂本会員から頂いた言葉です。私はラグビーを長くやっていたので身体が前かがみになってしまったのです、と白々しい言い訳をしましたが、クラブでこのようにはっきりと欠点を指摘されたのは初めての事でした。新鮮な経験でした。

坂本会員は、1977年6月に大阪天満橋ロータリークラブに入会され、今年で入会50年になられる大先輩でした。2002年から2003年にはクラブ会長を務められました。その時、理事、役員でもなかった

私のことを気にかけて頂き、例会後に毎回私に今日の会長挨拶の意味が会員に伝わったかどうかを確認されていました。又会長として例会運営に危機感を持ち、会員の有志に声をかけ、USスタジオパークの近くのホテルで1泊2日の合宿を行い、例会の在り方、今後の展望をまとめられました。その際も、私に司会、進行役を任されました。2004年から2005年にかけては、ガバナー補佐代理を務められました。

最近では2024年11月4日に当クラブの最古参会員ということで、クラブ創立56周年記念卓話をしていただきました。その時会員に対してロータリアンとして、大事なことが6点あります。①互いに親しく接する、②信用のある人堅実な人、③優劣をつけない、④努力家、⑤社会に役立つ人、⑥入会してよかったと思えるクラブにしていってくれる人これら6点を心がけてほしいと訴えられました。

仕事においては、(株)全帽社の代表取締役会長として最後まで会社の事務所に顔を出され社業に全力を注がれました。

坂本会員永らく本当にお疲れ様でした。これからゆっくりお休みください。

心から永年のおつきあいに感謝申し上げます。
中村 健輔

ロータリー財団 米山奨学会 コインサービスの報告

11/13	残	高	300円	
2/ 5	受	入	100円	
	現	在	高	400円

☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆

帆立貝と香草風味のタブレ

豚肩ロース肉のブレゼ

温かいフォンダンショコラ

コーヒーマ又は、紅茶

バゲット、ソフトロール

我等の生業

作詞 高野辰之
作曲 岡野貞一

一、我等の生業さまざまなれど

集いて図る心は一つ

求むるところは平和親睦

力むるところは向上奉仕

おゝロータリアン

我等の集い

二、奉仕に集える我等は望む

正しき道に果をとるを

人の世挙りて光を浴みつ

力を協せて争忌むを

おゝロータリアン

我等の集い